

# 平成26年度DPC評価分科会 特別調査(ヒアリング)

稲城市立病院  
院長 北井 啓勝



稲城市マスコット 稲城なしのすけ

## 稲城市立病院について

- 昭和21年 開設
- 昭和40年 救急病院に指定
- 平成 9年 災害拠点病院に指定
- 平成20年 電子カルテ導入
- 平成21年 DPC対象病院に認定
- 平成22年 基幹型臨床研修病院に指定
- 平成24年 病院機能評価認定 (Ver6. 0)



所在地	東京都稲城市大丸1171番地
標榜診療科	内科、神経内科、腎臓内科、循環器科、呼吸器科、 消化器科、産婦人科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、 眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、精神科、麻酔科 リハビリテーション科、放射線科、病理診断科 (計20科)
稼働病床数	290床(一般)

## コーディングに係る部門の体制

### 医事課

#### 医療情報係(診療情報グループ)

診療情報管理士	計	4名
診療情報担当係長(医師、兼任)		1名
診療情報管理士(実務担当)		3名
※ 正規職員 2名、嘱託(直接雇用)		1名

#### 入退院係

入院診療請求の担当者(委託)	5名
----------------	----

3

## コーディングに係る部門の体制 (職員の配置)

### 【診療情報担当係長(医師)の配置】

- 難渋するコーディングについては、担当医に相談するだけでなく、診療情報管理士の資格を持つ指導医師へ相談できる体制がとられている。
- コーディングに係る部門に担当医師が配置されることにより、運用の検討やDPC部会の調整がしやすくなる。

4

## コーディングに係る部門の体制 (システム関連)

### 【電子カルテの導入】

- 診療情報管理士、医事課入院担当には各々電子カルテとレセコンが配置され、診療内容を確認できる体制がとられている。
- 臨床現場での診療情報を電子カルテを使用する事により、離れた場所でもリアルタイムに確認することができる。

### 【DPC分析ソフトの導入】

- DPC分析ソフトが導入され、可視化した診療内容により医師と意見交換しやすい環境になっている。

5

## コーディングの手順について①

### 【概要】

当院は電子カルテに付随する、DPC支援システムを使用している。  
医師が、入院時に病名と診療行為を入力することにより、DPCコードが自動付与されるシステムになっている。

医師：診療過程で病名や診療行為を電子カルテに入力。

診療情報管理士：電子カルテ記載内容と入力された病名・診療行為からDPCコードを確認。

医事課入院担当：診療行為と診療行為に対する病名を確認し、診療報酬を（委託）請求する。

診療情報管理士、医事課入院担当者は医師が登録したDPCコードに対し、疑義がある場合は、医師との間で意見調整をする。

6

## コーディングの手順について②

入院後  
2日以内



### 入院時コーディング

#### 【予定入院時】

- ・診療情報管理士は登録された病名と予定診療行為を電子カルテに入力。
- ・医師は入力された病名と予定診療行為を確認。

#### 【予定外入院時】

- ・医師は病名と予定診療行為を電子カルテに入力。
- ・診療情報管理士は入力された病名からDPCコードを確認。

月 末



### 入院時コーディングの確認

- ・医事課入院担当は実施診療行為を確認。
- ・診療情報管理士は電子カルテ記載内容と病名・診療行為からDPCコードを確認。
- ・DPCコードの修正が必要な場合は、医師へ確認。

7

## コーディングの手順について③

入院期間  
Ⅲ超



### 出来高算定への移行の確認

- ・診療情報管理士は電子カルテ記載内容と病名・診療行為からそのコードのまま出来高に移行するか確認する。

退院時

### 退院時コーディング

- ・退院2日前までに医師は退院予定を入力。
- ・医事課入院担当は実施診療行為の確認。
- ・診療情報管理士は電子カルテ記載内容と病名・診療行為からDPCコードを確認。
- ・退院時DPCコードに修正が必要な場合、医師へ確認のうえ修正。DPCコードを確定させる。

8

## DPCコード修正事例①

術後、病理結果よりチョコレートのお胞と判明(診療情報管理士)

チェック前

医療資源病名	D27 卵巣のお腫
120070 卵巣の良性腫瘍	



チェック後

医療資源病名	N80.1 チョコレートのお胞
120100 子宮内膜症	

医師に確認のうえ資源病名の変更



9

## DPCコード修正事例②

診療情報管理士から医事課入院担当者に  
資源病名変更を連絡



医事課入院担当者は資源病名と診療行為の  
再点検を実施



診療行為(術式等)変更の際は担当医師に確認



DPCコードの確定

10

## 適切なコーディングへの取り組み (DPC部会の開催)

### 【開催頻度】

平成25年度までは年2回開催。

平成26年度よりDPC部会を毎月開催。

### 【委員会の構成】

部会長:副院長

事務局:医事課医療情報係(診療情報管理士)

委員:医師4名、看護師2名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、  
管理栄養士1名、診療情報管理士3名、医事課3名、  
医事委託3名(計17名)

※ このほかにオブザーバー等の参加者がいます。

※ テーマにより、各職種に追加で参加していただいています。

11

## 適切なコーディングに関する委員会

### 【直近3回の開催日と議事】

開催日	議事
8月27日(水)	心不全コーディングの検証 ・心不全コーディング割合と併存病名に心筋症・心筋梗塞に関連する病名が含まれている割合の検証 ・心不全症例の検証とコーディングテキストの説明
9月24日(水)	救急医療入院について ・定義の確認 ・救急医療管理加算の算定割合と推移 ・救急医療入院理由の比較(ベンチマーク)
10月29日(水)	敗血症コーディングの検証 ・診断基準の確認 ・敗血症症例数と血培実施率の検証 ・件数在院日数比較(ベンチマーク) ・コーディングテキストの説明

12